

11月17日に開催した「インターナショナル・フェスティバル」川崎市市制100周年記念および川崎市国際交流センター開館10周年記念として開催された。参加した皆さんは何を楽しみ、どう感じたか。

# 特集 「インターナショナル・フェスティバル」

## 体験する

### ウクライナの伝統工芸 プィーサンキ(ピサンキ)



●プィーサンキは、卵の殻に長寿、健康、子宝、豊作といった象徴の模様を描いたお守りです。家族を守るために、女性がお守りや誕生日の贈り物として作ります。(「ウクライナのプィーサンキ」テチャーナ・ソロツカさん)

●ショールの伝統的な模様の赤は愛、黒は悲しみを表すそうです。戦争中でも、ウクライナの文化を守って発信していきたいです。(「ウクライナのプィーサンキ」中野さん)



### ブラジルの卓上サッカーゲーム フットメザ



●初めてだったけどゲームマシンやスマホのゲームより楽しかった。お父さんと一緒に遊んだけど、お父さんは以前サッカーをやっていたので結構のめり込んだ。(匿名 8歳 市内在住)

### 外国人市民代表者会議

●川崎市には約5万人の外国人が暮らしています。住みよいまちにしたいと年8回、生活する中で感じている問題を話し合っています。前期(第14期)では産前・産後支援に関するリーフレットを14言語で作成しました。12月15日には中原市民館で、オープン会議を実施!(「外国人市民代表者会議」ガブリエラさん ブルガリア出身)



### 着物体験&和風フотスポット



●着物は初めてで、楽しかった。袖が動きやすく快適です。(キエンさん ベトナム出身)  
●せっかちで落ち着きのない私ですが、着物の上品さが女性らしい気持ちにさせてくれました。来年はここでベトナムの踊りを披露したいな。(シュエンさん)

●写真撮影でも和傘は人気がありますが、職人が少なくなっています。新しいのを仕入れるのは大変なので、お稽古でぼろぼろになっても大切に使っています。(「正統派若柳流若仁会」須之内あきこさん)

※「 」は出展(店)団体名、出演団体名。

### 電子工作教室

●学生時代の仲間と2回目の出展です。電子工作の楽しさを知ってほしいです。(「BOLITEC合同会社」玉城トシノリさん)



●ルーレット作りをしました。わかりやすく教えてもらって楽しかった!大人になったら再生可能エネルギーに役立つようなエコモーターを作りたいです。今日はブラジルやポルトガルの人と出会ったり、いろんな遊びに参加できたから、来年もまた来たいです。(安藤慧蓮君 9歳)

### 茶道体験/茶道具関係販売

●「和敬清寂」という言葉のように、流派は関係なく心を合わせて、互いに敬いあって、茶道という伝統、そしてこの茶室「木月庵」(注1)を大切に保存していきたいです。2025年9月に「木月庵を大切にする会」30回記念の茶会を予定。(「川崎国際交流茶道研究会」長谷川宗江さん)  
(注1)1994年に京都の宮大工により建てられた。



### 神奈川県ユニセフ協会



●(SDGs目標6に関連して)5歳までに命を落とす子どもがいます。安全な水を使えず、感染症になる子どもが多いからです。衛生的な生活することが大切です。(「神奈川県ユニセフ協会」浦郷さん)

### バザール



●多くの人の前でペルーの楽器を奏でられて、みんなに聴いてもらえるのが楽しい。(「クントゥール ラテンアメリカ カルチャープラン」二階堂ホアンさん)

●56年ぶりに生活拠点をアマゾンから移してきたら、日本の夏はアマゾンより暑い!来年5月に『ガラシとクルピラ』を単行本として出版する予定です。(「アマゾン」陣内スマさん(注2)とファミリー)



(注2)先住民族ワン・ペレイラさんの神秘的な絵に、アマゾンの魚・料理・民話を書いた作家

(取材・撮影:編集ボランティア)

「ヨナル・フェスティバルinカワサキ」は  
開設30周年の記念事業としても、おおいに盛り上がりました。  
たのでしょう。一緒にお楽しみください。

# 「ヨナル・フェスティバルinカワサキ」をご紹介します!

## 多文化共生を考える

● 絵本『私は十五歳』の啓発に注力し、共生を合言葉に在留資格・仮放免・外国につながる子どもについて取り組んでいます。言語の違い以前の課題に参加者が関心を寄せてくれます。「(「多文化活動連絡協議会」中村ノーマンさん)



● 世界の言葉、食べ物、文化が集う祭りは貴重だと再認識しました。(実行委員長 山本忠利さん(「平間わんぱく少年団」 「和太鼓祭音」))



● 影絵やジャワ舞踊を初めて見る方にも楽しんでほしい。このフェスティバルは食から芸能まで国際色豊かなので私も楽しみたいです。12月22日(日)も交流センターで公演するので来てくださいね。(「スマリール」池上さん)



## 交流する



● 留学生と参加者がいろんな国の遊びで交流できて盛り上がりました。留学生のお勧めの発表もユニークで素晴らしい!(「川崎市国際交流協会」猿田)

● ウズベキスタン・タジキスタン・アフガニスタンの舞踊を各地のイベントで紹介しています。(「GULISTON/グリスタン」さん)



## みる・考える

● 川崎にはラオス人が少なく、あまり知られていない国ですが、農業が盛んなことや観光地を紹介して、皆さんに訪ねてほしいです。(「川崎ラオス友好協会」浦上さん)



● 私たちの活動を知らなかった人にも出会えるし、共感していただき、手紙書きの活動に参加してもらって嬉しかった。(「アムネスティかながわグループ」中村高明さん)



## あそぶ・体験する

● このフェスティバルはお子さんが大勢集まってきて交流できるので毎年楽しみにしています。今年も250人に参加してもらえました。天気もよく期待通りでした。(「魂刀流志伎会」高橋昌也さん)



## ステージ

● 川崎の老舗グループによるプロにも劣らないパフォーマンス、きっとあなたの心に響いたでしょう。国際色あふれるパフォーマンスを募集中!(「武蔵野太鼓保存会」菅谷さん)



● 記念すべき節目の年に参加させていただき、川崎にレビューがあることを皆様知って頂けたことに感謝です。(市制100周年・交流センター開設30周年記念レビューで出演「Fabulous Revue Boys」神崎順さん)



## キッチンカー(世界の料理)



● 去年楽しかったので、今年も期待して来れました。お客さんがいっぱい来るのがいつも楽しみなんです!(「キッチンカー愛」アリスさん ウイグル出身)

● フェスティバルにはもう5回以上来ています。今まで味わったことのない食べ物が楽しみ!(ミーちゃん、レイちゃん 60代 市内在住)



◎こちらからフェスティバルをお楽しみください。→

◎「かわさき市民ニュース」さんにも取材いただきました。動画をご覧ください。<http://kcn.minibird.jp/>